

平成28年9月2日

三木市議会  
議長 初田 稔 様

民生生活常任委員会  
委員長 松原久美子

### 行政視察報告書

下記のとおり委員会行政視察を実施いたしましたので、会議規則第107条の規定により報告します。

#### 記

#### 1. 参加者

松原久美子（委員長）、板東聖悟、吉田克典、泉 雄太、  
堀 元子、大西秀樹、初田 稔 計7名

#### 2. 視察内容等

日 時		場 所	内容及び対応者
8月2日	13:30 ～15:00	石川県 加賀市	高齢者お達者プランの取組 (対応者) 地域医療推進室長 大田俊介 子育て支援課長 奥村清幸 議会事務局長 表雅裕 議会事務局 上出直美
8月3日	10:00 ～11:30	福井県 福井市	観光おもてなし市民運動 (対応者) おもてなし観光推進課主幹 宮川和也 議会事務局庶務課主事 辻貴之
	15:00 ～16:30	石川県 羽咋市	神子原地区の特徴的な取組(山彦計画) ・神子原米のブランド化 (対応者) 農林水産課課長補佐 山本裕一 農林水産課主任 森田里美
8月4日	10:00 ～11:30	富山県 小矢部市	アウトレットパークの誘致 ・誘致の経緯、誘致後の状況、今後の計画 (商業まちづくりプラン) (対応者) 企画政策部次長 田中一之 アウトレット・商工立地課課長補佐 森 通 議会事務局局長補佐 明石雅之 議会事務局主任 松田充弘

### 3. 事前質問

#### 加賀市

- 1 プランを策定する前の市としての課題は何だったか。
- 2 地域密着型サービスの整備について
  - ・ どのような事業所、団体か。
  - ・ どのようにして事業所を集めたか。  
(期間、方法、募集数に対する応募数)
- 3 事業所に対する研修などは行ったのか。
- 4 市と事業者との連携はどのようになされているか。
- 5 地域との交流はなされているか。
- 6 苦情窓口はどこが対応しているか。苦情に対する対応はどのようになされているか。

#### 福井市

- 1 福井市が考える「おもてなしの心の醸成」とはどのようなことか。
- 2 おもてなし講習会や研修は事業者対象だが、一般市民向けの取組は。
- 3 この事業の成果はどのように表れているか。評価の方法は。
- 4 市民総ぐるみの運動にするために特に重視していること。
- 5 この事業にどのぐらいの予算をかけられているのか。
- 6 この事業に若い方の参画は多いのか。  
また、世代別の参画状況はどうか。

#### 羽咋市

- 1 神子原米をブランディングするに当たり、取り組まれた事とその費用
- 2 まちづくりにおける「人おこし」で取り組まれた事  
(羽咋ギネスブック等)
- 3 女子大生限定の民泊の実績とその効果
- 4 マスコミへのアプローチの仕方 (マスコミの使い方)
- 5 様々な企画の成功例と上手くいかなかった事例  
また、上手くいかなかった原因等を分析されておれば。

#### 小矢部市

- 1 アウトレットモール誘致の経緯について
- 2 アウトレットモール誘致関連予算・決算について
- 3 アウトレットモールの入込数、売上額の状況
- 4 市議会や市民のアウトレットモール誘致の議論
- 5 小矢部市商業まちづくりプランについて
  - ・ 内容、進捗状況、課題
- 6 アウトレットモールから市内への波及効果について
  - ・ 開業1年経過したところの状況
  - ・ 今後の展開について

#### 4. 所感

##### (1) 高齢者お達者プランの取組について（加賀市）

元々大規模な事業所がたくさんあった利点を活かし、それを細分化し、それぞれの地域の中で必要とされる事業所が展開・運営されており、住み慣れた地元でのケアシステムが充実している。

また、地域共生をめざし、事業所内に学童保育を併設するなど、児童と高齢者の交流などでお互いにいい効果を得ているとのことである。

また、要介護者が地域へ出かけられる仕組みづくりに取り組まれていることから、当市もそれらの仕組みづくりを模索し、検討しなければならないと考える。

##### (2) 観光おもてなし市民運動について（福井市）

福井市は北陸新幹線福井駅開業、東京オリンピック・パラリンピックを転機と捉えている。そのために観光客をもてなすための市民を巻き込んだおもてなし文化の醸成を目的に、継続的な取組を実践されている。福井市の説明では当市と「観光資源の点在」や「PR下手」が共通すると思われた。そこで、まずは映像や写真集など思い切ったPR戦略でリピーターを増やそうとしている。そして、地元が地元をあまり知らないという課題から、市民が地元の魅力を知り、おもてなしに活かせる仕組みづくりを行っている。三木市においても良いまちづくりのヒントになると感じた。

##### (3) 神子原地区の特徴的な取組について（羽咋市）

限界集落になる寸前の神子原地区を立て直すため、目標と目的を明確に定め取り組んだ結果、米のブランド化に成功している。メディア戦略も功を奏し、米の生産、販売は大好評を得ている。

また、現在ではその地区の移住者の受け入れについては市民が移住者を選ぶという状態になっている。限られた資源の中、メディア戦略、ブランド化戦略に人脈やノウハウのある市の人材が活躍しており、当市も確かなビジョンを持ったリーダーの育成、発掘が必要であると考えます。

また、三木市のブランドをどう高めて行くのかも考えなくてはならないと感じた。

##### (4) アウトレットパークの誘致について（小矢部市）

実際の誘致までの詳細をお聞きし、今後の我が市における議論の参考にしたい。アウトレットモールと商店街との連携強化が重要課題と感じた。小矢部市においてもアウトレットから街中へ客を誘導することが課題であった。市内回遊の仕組みの一つとして、市内商店の特典付きのパンフレットを作成するなどしている。アウトレット誘致によって若者の雇用や市外への流出の歯止めには徐々に効果が出始めているとのことである。